

令和4年度大学教育再生戦略推進費 地域活性化人材育成事業～SPARC～ 計画調書

[基本情報]

1. 事業責任大学	山梨大学								
2. 機関番号	申請 大学	13501							
3. 事業者 (大学等の設置者)	ふりがな (氏名)	しまだ 島田	しんじ 真路	(所属・職名)					山梨大学・学長
4. 申請者 (大学の学長)	ふりがな (氏名)	しまだ 島田	しんじ 真路	(所属・職名)					山梨大学・学長
5. 事業責任者	ふりがな (氏名)	かざま 風間	ふたば	(所属・職名)					山梨大学・理事・副学長 地域人材養成センター長
6. タイプ名	タイプ①								
事業計画名	知(地)のソーシャルキャピタル～学びの山梨モデル～構築事業								
7. 対象地域	山梨県								
8. 事業のキーワード	社会変革力・現場変革力・STEAM教育のスキルセット・文理横断型の実践知教育								
9. 事業のポイント(400字以内) (394文字)	本事業は、不確実性の高い社会においても、臆することなく世界へ挑戦し続ける力と意欲を持った人材ならびに地域社会の育成を目指し、知(地)のソーシャルキャピタル構築を最終目標とする。 “知”の中心となる大学では、両大学が連携して教育改革を進め、PBL科目やSTEAM科目の拡充による文理横断型の専門教育の拡充や文系学生・女子学生に対する実践知としての理工系教育を推進する。 また、両大学の「地域人材養成センター」は一体となり、改革された学部教育とAP制度やリカレント教育とを有機的に結合させ、高校生、大学生、社会人に対しての一貫性かつ一体感ある学びを提供する仕組み(垂直結合型の「学びの山梨モデル」)を構築する。世代を超えた“学び”の共有は、地域の産業・生活を担う各プレイヤーが個人・組織・地域の未来を主体的かつ内発的に創造し続け、誰もが自身・地域の“停滞から成長”を実感できる地域づくりの核となる。								
10. 学生・教職員数	大学名	山梨大学							
		学生数				教職員数(R4.5.1)			
		入学定員 (令和4年度)	全学生数 (R4.5.1)	収容定員 (令和4年度)	定員充足率 (R4.5.1)	教員数	職員数	合計	
	学部	825 人	3,793 人	3,550 人	106.8%	846 人	1,343 人	2,189 人	
	大学院	345 人	873 人	767 人	113.8%				
	合計	1,170 人	4,666 人	4,317 人	108.1%				
11. 取組を実施する学部等名	学部等数	3			研究科等数	-			
	(学部等名) 工学部 生命環境学部(環境科学科・地域社会システム学科)								
	(研究科等名) -								
12. 学校教育法施行規則第172条の2第3項において「公表するものとする」とされた教育研究活動の状況について、公表しているHPのURL	https://www.yamanashi.ac.jp/about/136#m3								

13. 事業経費(単位:千円) ※千円未満は切り捨て							
年度(令和)	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合 計
事業規模	200,000	200,000	200,000	200,000	133,333	66,667	1,000,000
内 訳	補助金申請額	200,000	200,000	200,000	200,000	133,333	66,667
	大学負担額						

※1. 文部科学省や他省庁が実施する他の補助金は「大学負担額」に計上しないこと。

※2. 国立大学における運営費交付金、公立大学における運営費交付金等、私立大学の私立大学経常費補助金等は「大学負担額」に計上しないこと。

14. 事業協働機関	(参加校[大学、短期大学、高等専門学校])
	山梨県立大学
	(地方公共団体)
	山梨県
	(企業・経済団体)
	(公財)やまなし産業支援機構・(公社)やまなし観光推進機構・専修学校山梨予備校
	(金融機関)
	山梨中央銀行
	(その他)

10. 学生・ 教職員数	大学名		山梨県立大学									
		学生数								教職員数(R4.5.1)		
		入学定員 (令和4年度)		全学生数 (R4.5.1)		収容定員 (令和4年度)		定員充足率 (R4.5.1)		教員数	職員数	合計
	学部	260人		1,110人		1,080人		102.8%		102人	47人	149人
	大学院	13人		29人		29人		100.0%				
	合計	273人		1,139人		1,109人		102.7%				

11. 取組を実施する学部等名	学部等数	3		研究科等数	－	
	(学部等名) 国際政策学部 人間福祉学部 看護学部					
	(研究科等名)－					

(事業責任大学名:山梨大学)

○ 地域活性化人材育成事業～SPARC～ 事業計画(概要)

【取組内容】

- ① “連携開設科目”を活用した教養教育課程の充実と効率化
- ② 教養教育課程におけるSTEAM教育の全学的な推進
- ③ **スキルセットに関わる実践知教育プログラムの実施**
- ④ リカレント教育の推進と共助型の学修コミュニティの構築
- ⑤ 課題・目的意識の高い入学者の確保に向けた高大接続の確立
- ⑥ 地域人材養成センターの一体的運営による垂直統合型人材支援体制の整備

【実践知教育プログラムの概要】

<山梨大>工学部及び生命環境学部における**PBL科目の増設**、社会科学の知見やアントレ教育・地域教育との融合による**理工系学部の改革**
<県立大>国際政策学部「**地域デザインコース**」、人間福祉学部・看護学部：学部合同「**ヒューマンサービスを変革するDX人材育成プログラム**」新設

地域と大学は共に発展する存在であり、
地域の衰退は大学の将来に多大な影響！

複雑化する社会では、地域課題の解決や、
イノベーションの創出は**単独では限界**！

【大学が抱える課題】

- ・ 18歳人口の減少に伴う**大学進学者減少**
を見据えた運営、**中高生への理系教育**
- ・ VUCA時代における**意欲的に新たな価値創造に挑戦できる人材の育成**
- ・ 多様化する社会ニーズへの対応など

山梨の未来を見据えた人材育成
“**地域産業**”を“強み”に“**国内外**”に挑む人材
“**高付加価値化**”を“強み”に“**県内**”に人を呼び込む人材

【地域連携プラットフォーム】(令和4年度内に設置)

地域人材養成推進会議

地域未来における中核人材のスキルを想定
バックキャストで高等教育への反映を協議

【地域が抱える課題】

- ・ **若年人口の県外転出・生産年齢人口の減少**
- ・ 第4次産業革命などに対応できる**産業構造への変換(DX人材育成)**
- ・ 地域コミュニティの維持、活性化など

高度な地域・大学間連携の枠組みにより、
参画大学において、**教育改革**を実現

(一社)大学アライアンスやまなし

国立・公立の設置形態を超えた強力な連携
(**全国初**となる大学等連携推進法人の認定)



“自然科学と社会科学”の“翻訳者”
地域リーダー人材の育成・女性の理系進学

生命 地域課題解決実践特別教育プログラム

工学 工学の社会実践特別教育プログラム

生命 環境科学の社会実践特別教育プログラム

PBL科目の増設・社会科学の方法論を導入

地域人材養成センター

① “**連携開設科目**”を活用した教養教育課程の充実と効率化
山梨大の教養教育課程における連携開設率：100%

② 教養教育課程におけるSTEAM教育の全学的推進
山梨大のリソースを県立大へ展開
アントレプレナーシップ教育と地域学の強化
県立大のリソースを山梨大へ展開

③ スキルセットに関わる実践知教育プログラム

④ リカレント教育の推進と共助型学習コミュニティの構築
DX等の社会ニーズに合致したリカレント教育事業
産学官金交流機会と“学び”のコミュニティ構築

⑤ 課題・目的意識の高い入学者の確保に向けた高大接続の確立
課題・目的意識の高い学生の育成と入試への反映
探究型学習の支援、発表機会を大学・起業家と連携

⑥ 実践知教育(学部)・高校生・社会人への学びのサポート
垂直統合型人材育成体制 = “学びの山梨モデル”



実践知教育にもとづいた現場変革人材の育成
DXによる産業変革、高付加価値化

国際 **地域デザインコース(文理横断)**

DX, IoTを活用した産業分野での
現場変革人材

看護 **ヒューマンサービスを変革するDX人材育成プログラム**

医療・福祉現場の高付加価値化人材
(社会人履修証明プログラム)

福祉

地域人材養成センター

(学部等連係課程) **共生創造学環**の開設
文理横断型学位プログラム
リーダー型の地域貢献に資する人材を育成

地域社会との本格的連携・人材育成・イノベーション創出
(**多様な人々の多様な社会参加が新しい価値を創造**)
誰もが自身・地域の“**停滞から成長**”を実感できる
【**知(地)のソーシャルキャピタルの構築**】

(工学系新学科) **メイカーズ学科**の新設検討
「ものづくり分野」の学位プログラム
県内成長産業で**現場変革**を促す人材を育成

※地域連携PF・教育プログラム(コース)・学科・課程の名称は仮称